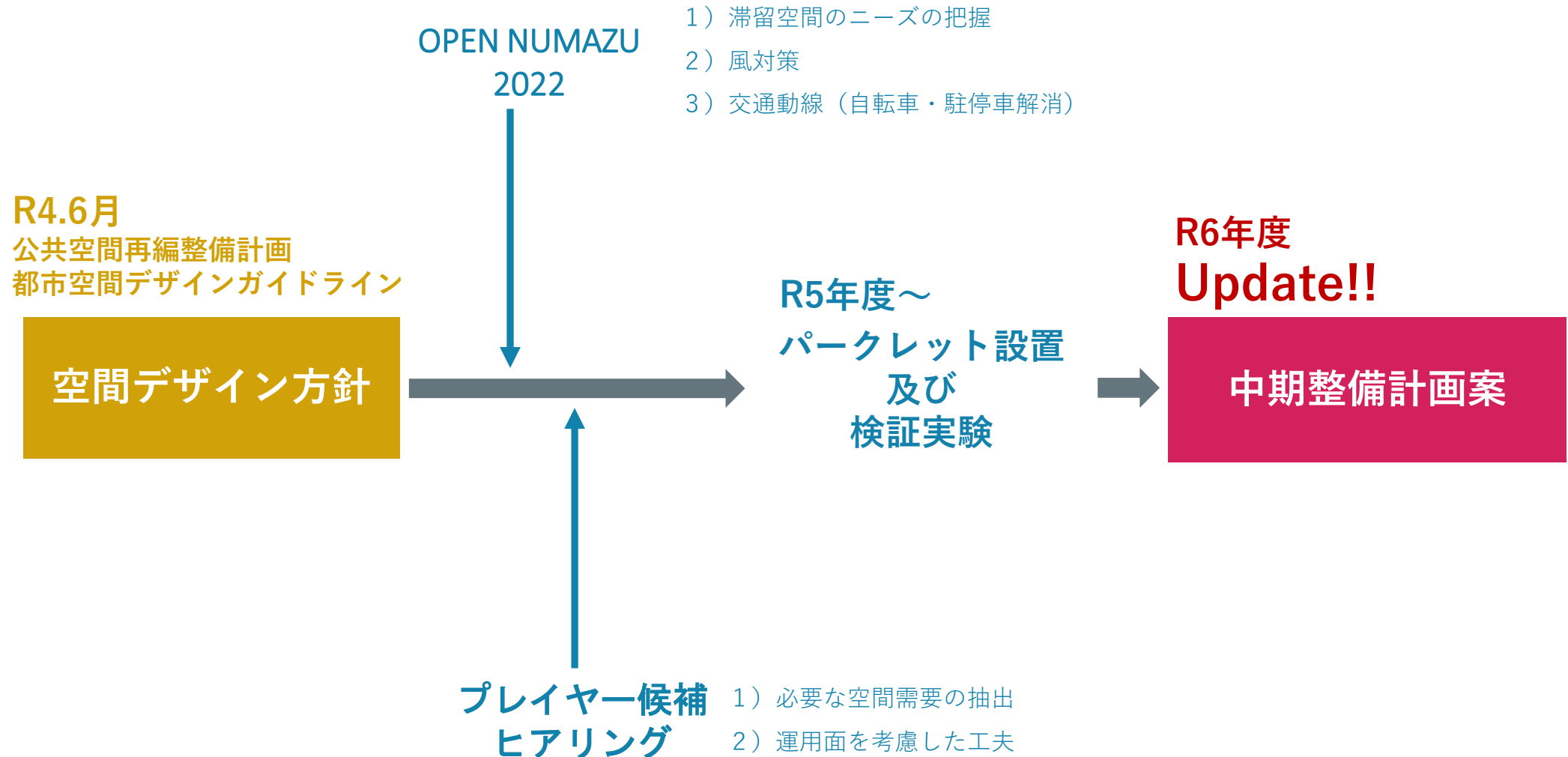


沼津市中心市街地まちづくり戦略会議 三枚橋錦町線西側区間の整備に向けて

令和5年3月30日
沼津市水道部庁舎3階会議室

三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた全体の流れ

■利活用を見据えた社会実験の実施やヒアリング調査など中期整備計画に向けた検討を実施

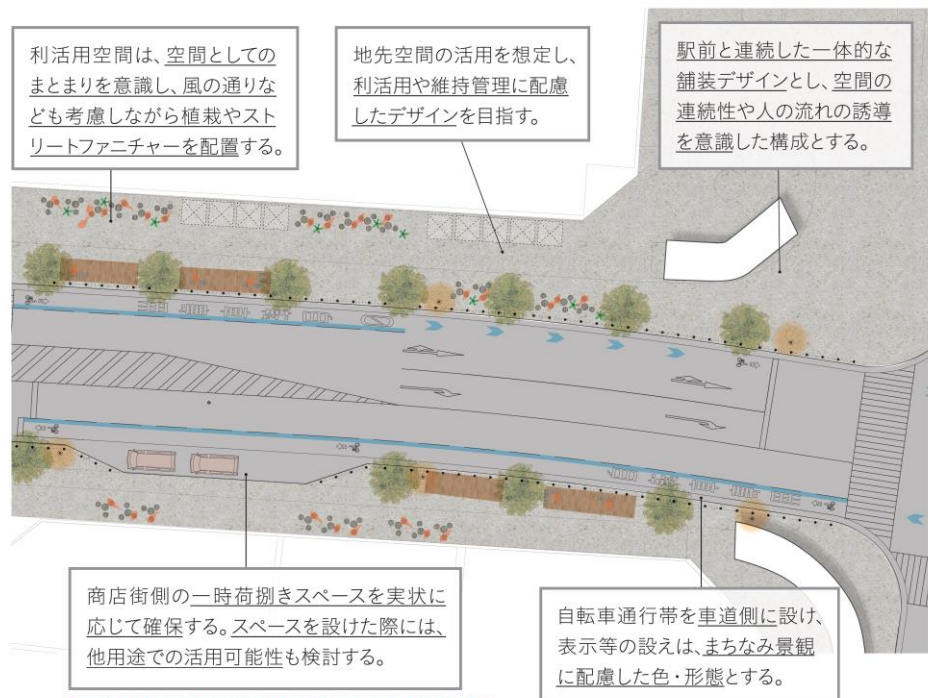


公共空間再編整備計画 | 三枚橋錦町線の空間デザイン方針 |

(都) 三枚橋錦町線の空間デザイン方針

- ・歩行者空間や滞留空間が拡大する南口駅前広場とまちをつなぐ特性から、駅とまちの一体感や連続性を感じられるデザインとする。
- ・南口駅前広場より西側の区間はプレイス機能を意識して、沿道商業施設や商店街等と連携した出店や、購入者やまちなかへの来訪者が気軽に休憩できる空間を目指す。
- ・南口駅前広場より東側の区間は、駅まち環状や、まちなかの南東エリアへと人を導くリンク機能を意識して、快適な歩行者空間を目指す。

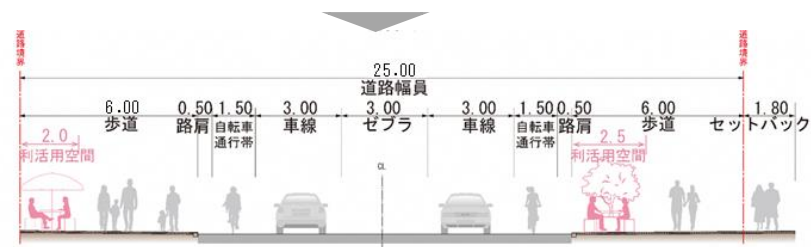
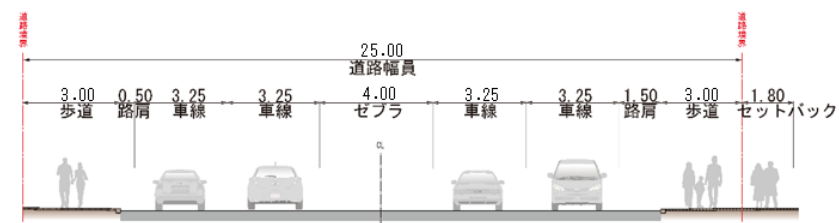
イーラde前区間 計画平面図



【課題】

荷捌きスペースを設ける場合の位置や運用ルール、自転車との錯綜などへの対策等については、今後関係者と調整・検討を行う。

(都) 三枚橋錦町線（イーラde前区間）の再編イメージ



三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた検討

■利活用を見据えた社会実験の実施やヒアリング調査など中期整備計画に向けた検討を実施

沼津市公共空間再編整備計画

(駅前広場・道路空間等の中心市街地内の公共空間のデザイン方針)

OPEN NUMAZU STREET 2022

利用者目線からの滞留空間としての整備条件

〔滞留ニーズの確認〕

- ・滞留者の増加やアクティビティや利用者層の拡がりから、駅周辺の居場所の必要性が見えた
- ・アンケートなどでも利活用に関する期待が高い

〔整備に向けた課題〕

- ・風環境への配慮の必要性
- ・自転車や車両動線に対する配慮

プレイヤー候補ヒアリング

プレイヤー目線からの利活用を見据えた整備条件

〔プレイヤー候補ヒアリング〕

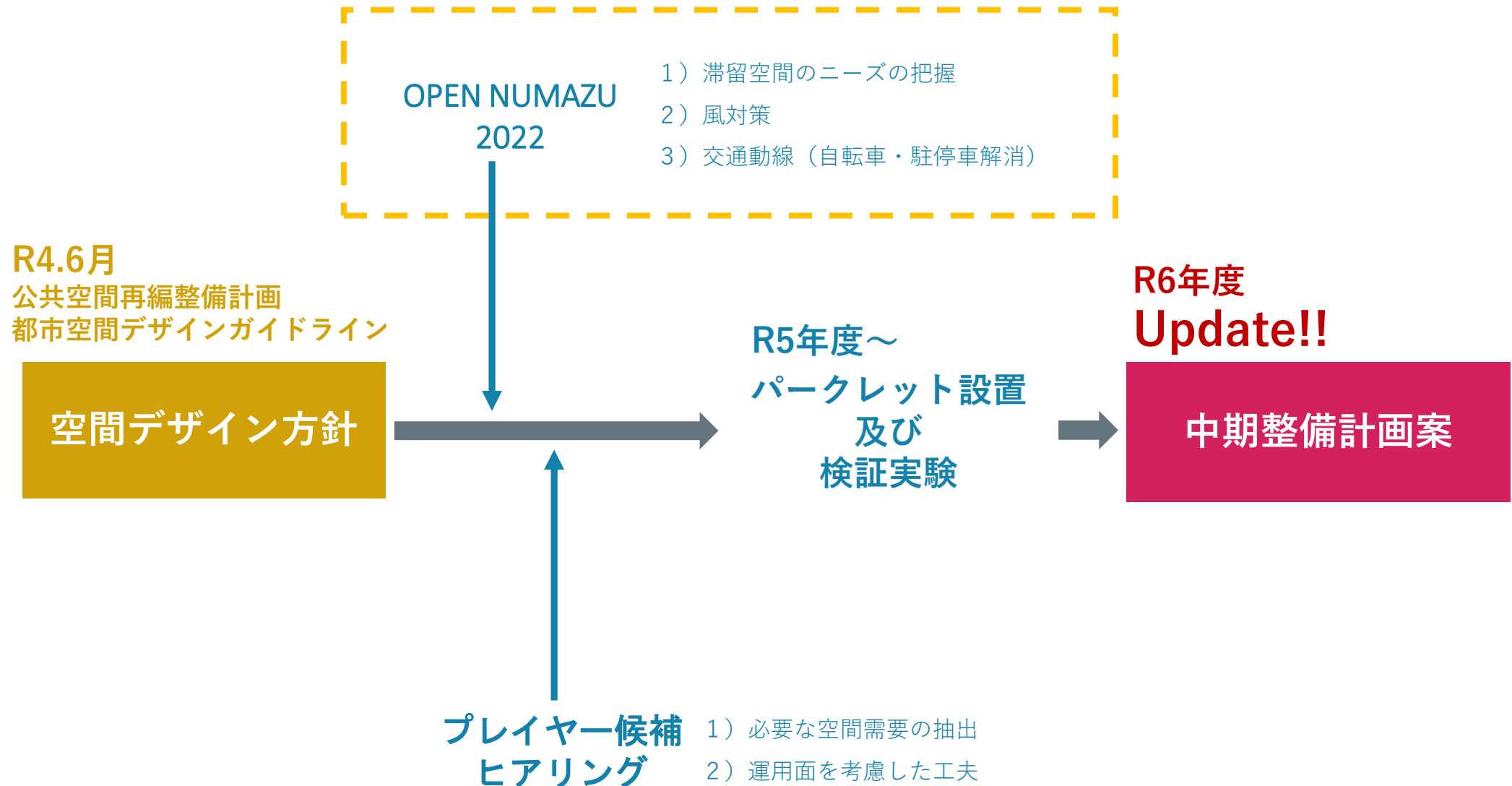
- ・利活用を想定した空間の使い方
 - ・利活用インフラや空間構成
 - ・運営を見据えた工夫やしつらえ
- についてヒアリングした結果を整備方針へ反映

■ 占有者ヒアリング

将来的な道路空間の利活用を担うまちづくり団体の在り方をヒアリング。

三枚橋錦町線西側区間の中期整備計画（案）

三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた全体の流れ



OPEN NUMAZU

OPEN NUMAZUとは

中心市街地まちづくり戦略で位置づけた「ヒト中心の公共空間の創出」の一環として、まちなかの公共空間や様々な資源をひらく（活用する）ことで、人の気持ちもまちに開いていくために、“あったらいいな”と思える日常の風景や居心地の良い空間づくりを行う取組。

OPEN NUMAZU 2022 STREET

【期間】

令和4年4月6日（水）～4月26日（火）の21日間

【場所】

イーラde周辺歩道及び南側車道の一部

※沼津駅南口駅前広場への左折車線を規制し、歩行者空間へと転換



【内容】

- 誰でも自由に使えるイス・テーブル等を造作し、**統一されたデザイン**のもと、くつろぎ空間を創出。
- 創出した**空間で居心地よく過ごすための付随コンテンツ・きっかけ**として、日常の寄り添った店舗の出店を実施。

【目的】

まちづくりシナリオで示すPHASE 1-1として、（都）三枚橋錦町線の再編を見据え、拡張した歩行者空間を含めた公共空間の利活用を実践。

目的1 街路空間の新たな使い方を試行し、来訪者の行動変容を把握する

目的2 市民のまちの変化に対する期待及び周辺事業者の公共空間利活用に対する機運を醸成する

目的3 駅前街路の再編（車線数減少）による周辺交通への影響を確認する



PHASE1-1 点「つかう・つくる」



・ 滞留空間へのニーズ

3週間の設置で、飲食に限らず高校生の放課後の活動、社会人のテレワークや高齢者の買い物終わりの休憩など、多様な年齢層・立場の方々の活動の場として利用され、日常生活の一部となっていた。

平均滞留者数の増加

平日：4人⇒9人
休日：11人⇒22人
休前日：11人⇒15人
(1時間あたりの人数)

未成年者の利用割合の増加

平日：16%⇒32%
休日：13%→22%
休前日：9%→14%に増加

アクティビティ種類の増加

休日：「その他」16%→38%
休前日：「その他」25%→51%



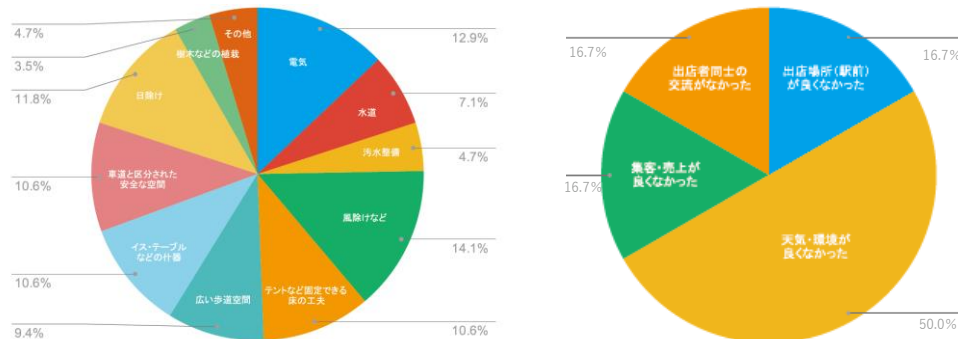
➡ 歩道の拡幅によって広がる約3mの幅員を滞留や利活用の空間として整備検討をする。

社会実験で見た課題

・風対策

満足度について「あまりよくなかった」と回答した半数は「**天気・環境がよくなかった**」と回答しており、出店者からは「**風除け**」に対する要望が最も多く見られた。

➡ 風対策として高木樹木の設置した際の風の緩和効果を検証する。



・交通動線（自転車・駐停車）の対策

- ・歩道部の自転車走行が多く、**地先活用の際や滞留空間の通行者とぶつかりやすい状況**が見られた。
- ・横断歩道部での**通行車両の乗降が行われ、一時停車する車両が多かった**。

➡ 自転車の原則車道走行や駐停車の禁止など交通ルールを決定し、運用する。

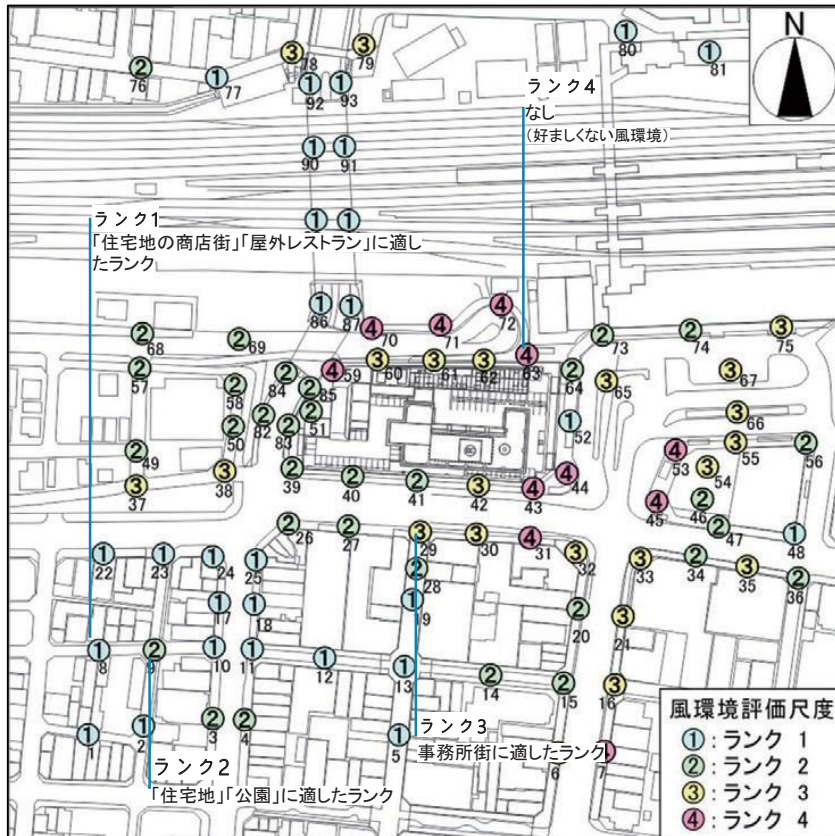


歩道を走行する自転車



くつろぎ空間から直接乗降する様子

風環境シミュレーションについて



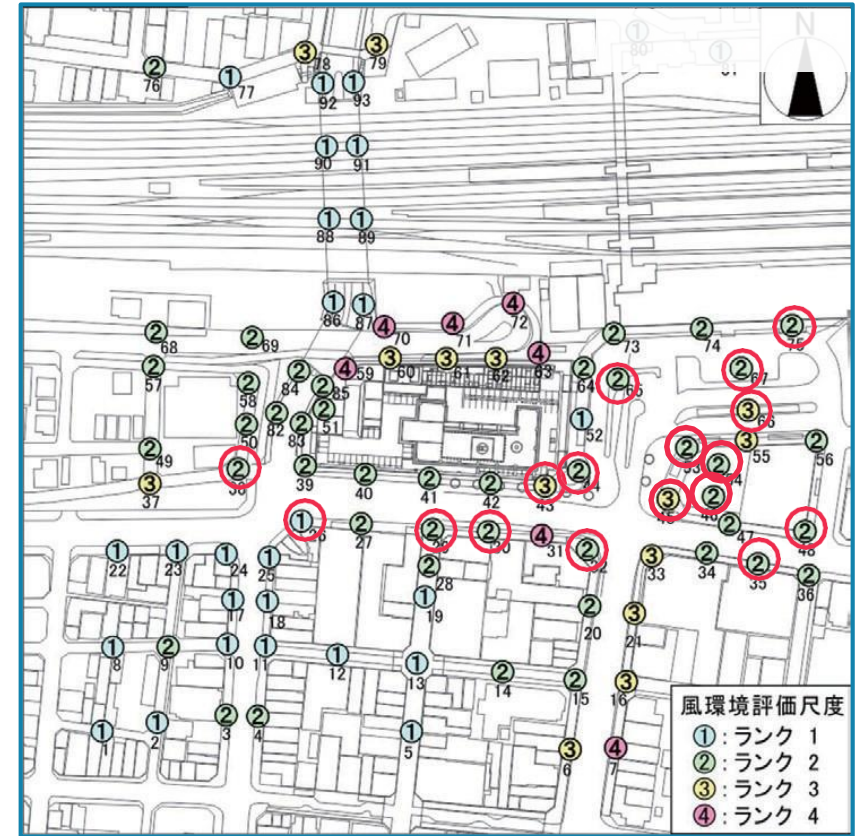
現況

イーラde東西方向に風の発生頻度が大きく、特に東側では風環境が強いランク3～4が発生している。

歩道に常緑樹を配置

ランク	許容できる空間用途
1	野外レストラン
2	住宅地・公園
3	事務所街
4	なし (好ましくない風環境)

赤：改善（現況と比較）



【結果】

- ・高木樹木を10m間隔で配置することによって、イーラde東側に風の緩和効果が見られた。

三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた検討

■整備の全体構成方針

1 ほこみちを想定した最大限の約3m幅員の利活用空間づくり

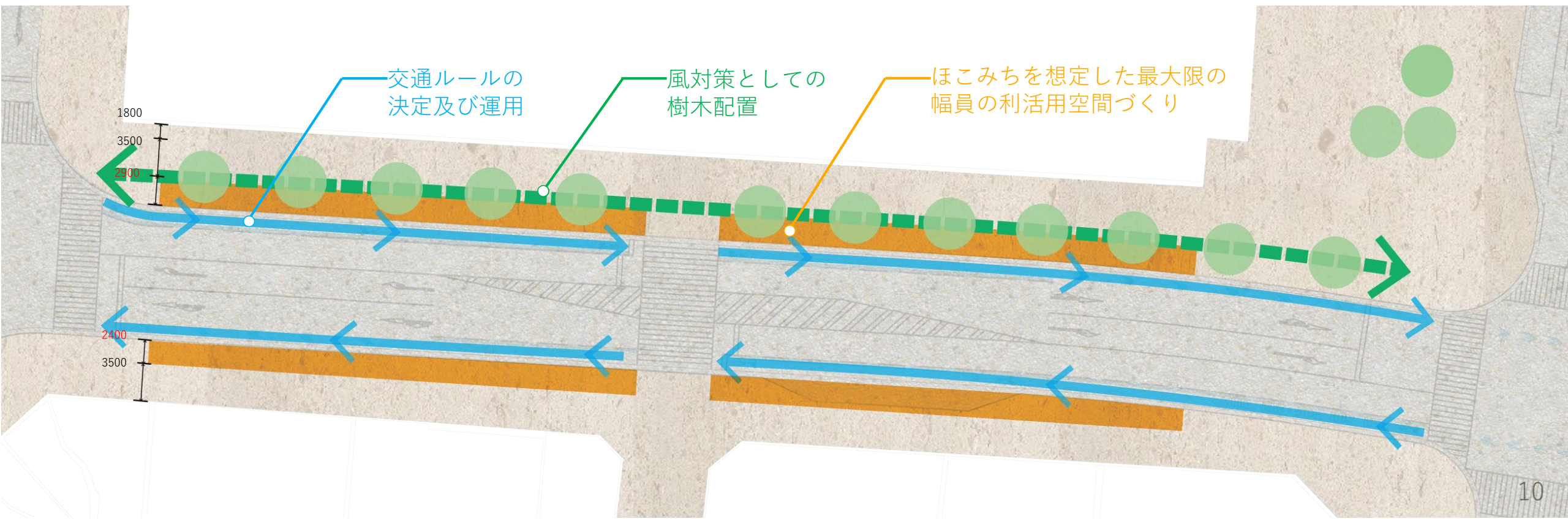
→令和5年度にパークレットを設置・活用しながら検証

2 風対策としての樹木配置

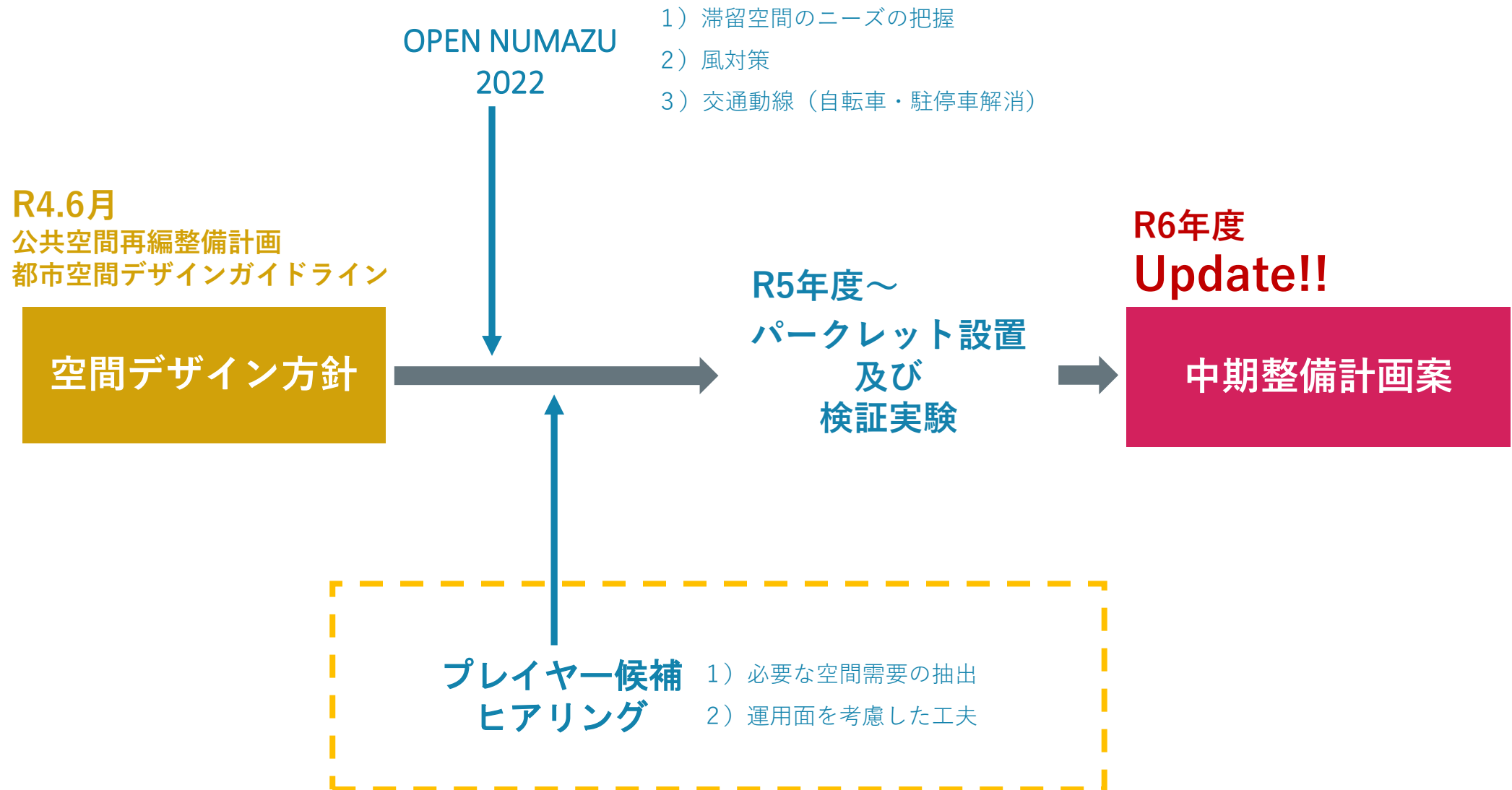
→10m間隔で高さ8m程度を想定

3 交通ルール決定及び運用

→南側の荷捌きは、その必要性について議論が必要（R5年以降）



三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた全体の流れ



三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた検討

プレイヤー候補ヒアリング

”OPEN NUMAZU 2022 STREET”の出店者、沿道商業者、まちづくりのキープレイヤーから、将来の利活用のあり方や空間の使い方についてヒアリングし、必要となる設えや設備、利活用ニーズを把握する。

ヒアリング対象者

周辺関係者及び利活用実践者（52事業者）

⇒ 周辺地権者、商業者、テナント事業者、OPEN NUMAZUの出店者

利活用に関するヒアリング項目

Q1 将来の三枚橋錦町線の道路空間において、どのような使い方やシーンが想定できますか？

Q2 Q1を実施したいエリアはどこですか？

Q3 Q1を実行するために必要な設備はなんですか？

Q4 Q3の設備がどのように整備されると使い勝手が良いと思いますか？

Q5 公共空間の利活用に関わるとしたら、どのような立場で関わりたいですか？

三枚橋錦町線（西側区画）の整備に向けたヒアリング

沼津市 都市計画部
まちづくり政策課

本市の中心市街地である沼津駅周辺においては、鉄道高架事業を始めとする沼津駅周辺総合整備事業が今後展開を迎えます。沼津市では、事業の進捗と併せて取り組むべきまちづくりの施策の方向性を示した「沼津市中心市街地まちづくり戦略」を策定し、沼津駅周辺を車中心からヒト中心の空間に再編しヒトが居心地よく過ごし、快適に回遊できる魅力的なまちづくりを推進しています。

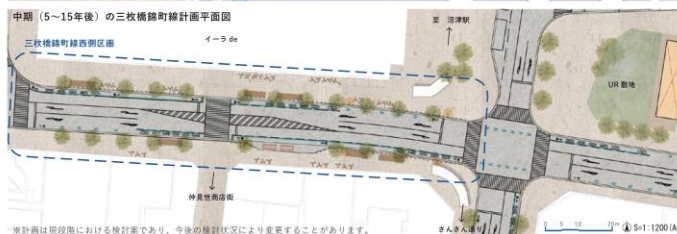


こちらからも
ヒアリングに
ご回答できます！

ヒト中心の空間の実現に向けて、まずは駅とまちをつなぐ役割を担う三枚橋錦町線（イーラde南側の道路）を整備し、生み出された空間を活用した様々な活動を有機的につなげることでヒトの滞留や流れを生み出しまちのにぎわいにつなげていきます。

三枚橋錦町線の将来（中期）のイメージ

中期（5～15年後）の三枚橋錦町線西側区画のイメージ



（都）三枚橋錦町線の空間デザイン方針

- ・歩行者空間や滞留空間が拡大する南口駅前広場とまちをつなぐ特性から、**駅とまちの一体感や連続性を感じられるデザイン**とする。
- ・南口駅前広場より西側の区画は滞在機能を意識して、**沿道商業施設や商店街等と連携した出店や、購入者やまちなかへの来訪者が気軽に休憩できる空間**を目指す。

OPEN NUMAZU 2022 STREET



三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた検討

■プレイヤー候補ヒアリングによるニーズ調査⇒32事業者分の回答

Q1 将来の三枚橋錦町線の道路空間において、どのような使い方やシーンが想定できますか？

①出店空間（飲食）	・・・22/32
②居心地のよう滞留空間	・・・21/32
③緑豊かで木陰のある空間	・・・20/32
④出店空間（物販）	・・・19/32
⑤日常的に使える待ち合わせ空間	・・・18/32
⑥ちょっとした催し物も可能なイベントスペース	・・・17/32
⑦その他	・・・2/32

①～⑥での回答数に差が少なく、**該当する全ての使い方やシーンに需要**があることが確認できた。

Q1 を実行するために必要なインフラ設備はなんですか？

①夜間の照明やフットライト	・・・26/32
②パラソル等を固定できる床の工夫	・・・24/32
③電気	・・・23/32
④水道	・・・21/32
⑤汚水排水	・・・15/32
⑥MAP等のサイン	・・・12/32
⑦その他	・・・3/32

①～④は回答者の7割以上が必要と回答している。今後の利用や活用で求められている必要最低のインフラと考えられる。

Q1 を実行するために必要な居心地の良さを生み出す環境整備は何でしょうか

①固定ベンチ	・・・23/32
②日除け設備	・・・20/32
③歩道と車道を区分する柵や壁	・・・19/32
④風除けの樹木	・・・18/32
⑤植栽	・・・16/32
⑥客席（可動イスとテーブル）	・・・16/32
⑦Wi-Fi	・・・15/32
その他	・・・3/32

①～⑥固定ベンチや柵、壁など、**回答者の半数以上が固定的な環境設備**を求めている。

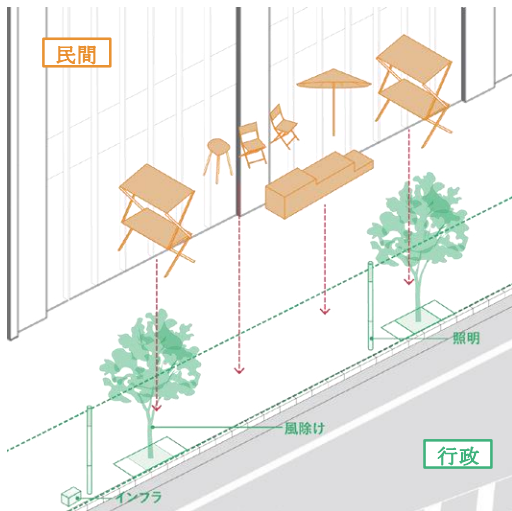
Q1 を実行するために必要な出店者用の設備はなんですか？

①出店者屋台（タイニースタンド）	・・・24/32
②木製の箱	・・・15/32
③おもり	・・・15/32
④A型看板	・・・14/32
⑤組み立て式什器	・・・12/32
⑥モクタンカン	・・・11/32
⑦台車	・・・8/32
⑦その他	・・・1/32

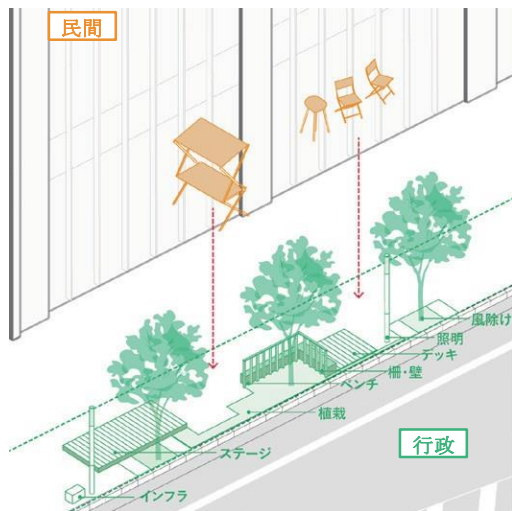
回答者の8割が「**出店者屋台**」への需要を求めている。整備では**屋台などを出店者が自由に設置できる空間**を確保しておく必要がある。

三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた検討

環境・出店者の設備がどのように整備されると使い勝手が良いと思いますか。



A. 電気・水道等の最低限のインフラを行政が整備し、民間（利活用する事業者等）が自由に活用できる面積が大きく確保されているパターン・・・9/32



B. 電気・水道等のインフラと居心地の良さを構成する設備を行政が整備し、民間（利活用する事業者等）の利活用面積が限られるパターン・・・23/32

公共空間の利活用に関わるとしたら、どのような立場で関わりたいですか

- ①利用者（お客さん、一市民）・・・23/32
- ②出店者・イベント企画・・・20/32
- ③空間全体の利用に関する企画・プロデュース・・・8/32
- ④その他・・・3/32

今後の民間側で利活用の中心的存在になりえる「**企画・プロデュース**」として**全体の4割**が関わりたいとしている。

→「出店者として関りが多いため、企画側に少し参加してみたい」

「空間利用に興味があるため、出店するにあたって、人員不足が大きな課題。イベントに人員が避けない」

「販売会を実施してみたい」

回答の7割が、滞留空間が充実した「B」と回答している。

一方で、「A」と回答したのは飲食系の小売店や、人が集まる講座を行うテナントなどの特徴が見られた。

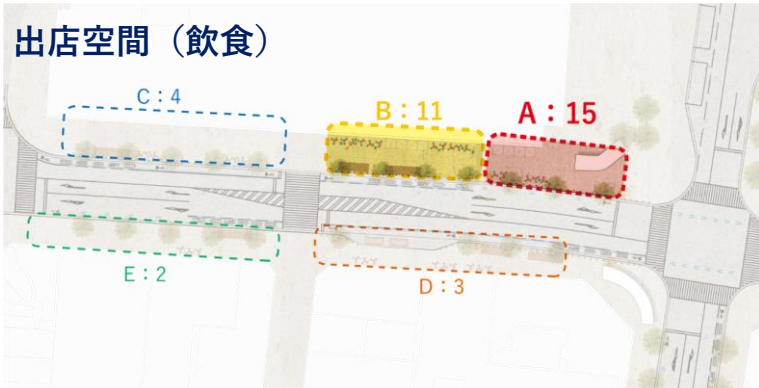
→「買い物」「体験」など複数人での活動が実施できる空間を確保することが重要と推察できる。

三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた検討

Q2

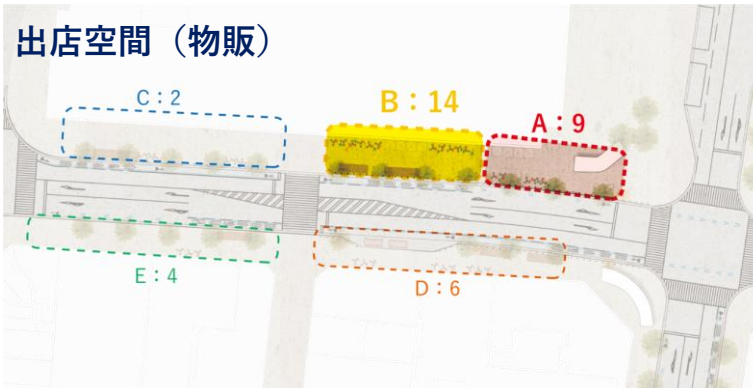
Q1を実施したいエリアはどこですか？

出店空間（飲食）



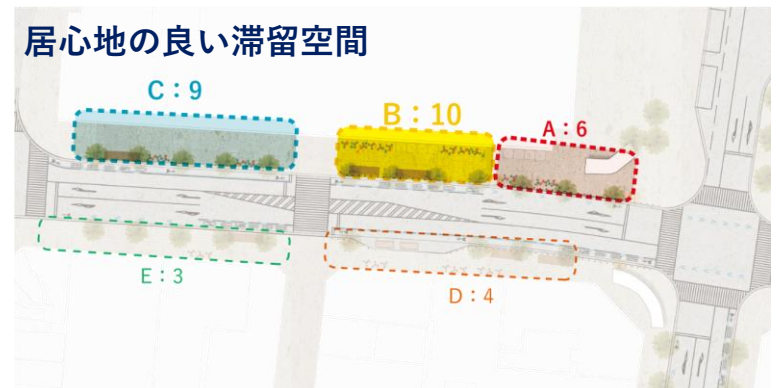
→A・Bの一体的な空間であったり、駅側に近い場所で、飲食出店の需要がある。

出店空間（物販）



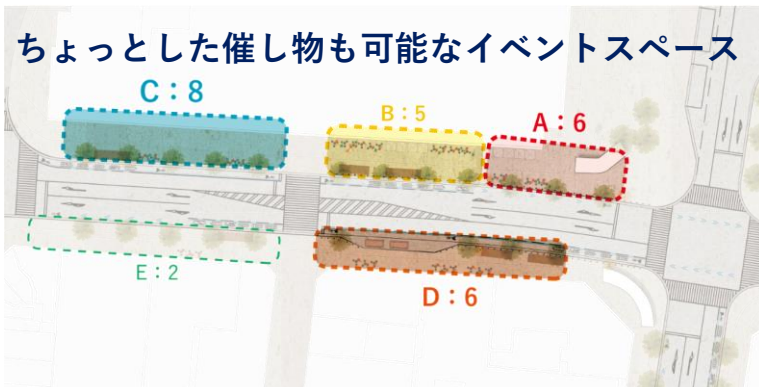
→B・Aの一体的な空間で、イーラde出入口にも近い場所で、物販出店の需要がある。

居心地の良い滞留空間



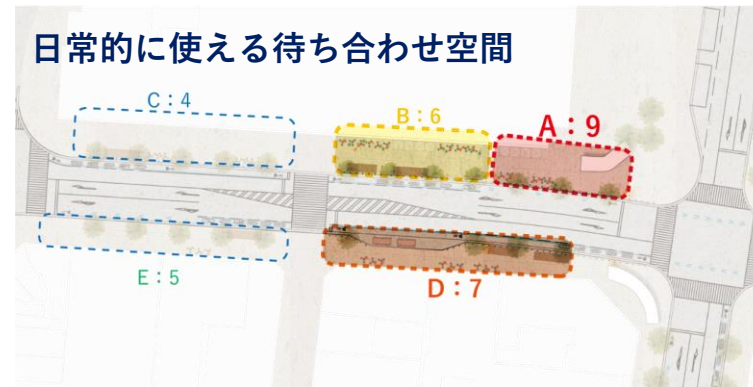
→北側のBCの空間でゆっくりと過ごすニーズがある

ちょっとした催し物も可能なイベントスペース



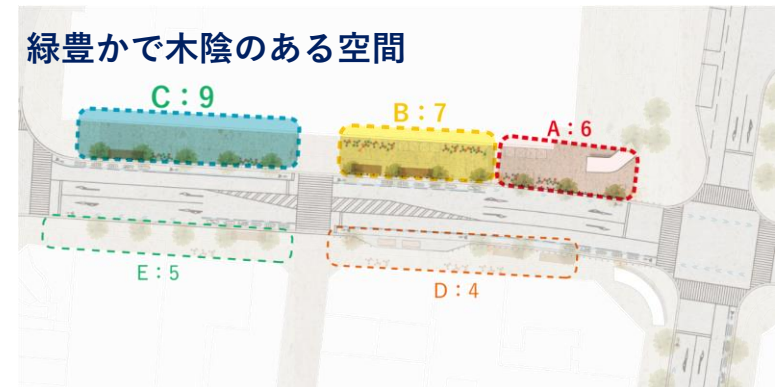
→Cへの需要が多く、次いでDの南側も使いたいと考えられる。

日常的に使える待ち合わせ空間



→A・Dといった東側で駅やさんさん通りなどに近く、交通結節点に近い空間で需要がある。

緑豊かで木陰のある空間



→北側歩道の、特に西から東にかけて緑陰のある空間が求められている。

三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた検討

■整備全体の空間方針

1 | 居心地がよく出店しやすい空間を目指し、必要な要素を取り入れる。

- 安心・安全 : 照明・ボラード・柵
- 快適性 : ベンチ・カウンター・ボードデッキ・植栽帯
- 出店しやすさ : インフラ・固定アンカー・出店可能な舗装面

2 | 運用面からのフィードバックを行います。 (R5年度内容)

- ・ 滞留空間の管理面・運用面
 - 将来のエリアマネジメント団体のあり方や運用
 - 日常的な空間の運用及び維持 (什器整備等)
- ・ 多様な出店・活用のトライアル (キッチンカー、セミナー、ポップアップ)

三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた検討

■三枚橋錦町線整備方針の各空間の要素例

緑豊かな日常の居場所

居心地の良い日常の滞留空間を主軸として、東西に流れる強風緩和の機能としての樹木を生かし、日かげなどによる居心地の良さを図る。

機能

- 常緑の高木樹木
- プランターなど身近な緑の設置
- 滞留可能な固定休憩施設
- 長い直線を活かしたイベントスペース

沿道店舗と連携した出店スペース

商業施設の地先空間活用を想定し、出店利用が可能な空間を十分に確保するとともに、購入品の飲食や整理など休憩以外の目的でも滞留が可能な空間とすることで居心地の良さを構成する。

機能

- 常緑の高木樹木
- 出店可能なデッキスペース（大）
- 出店を容易にする工夫装置
- 滞留可能な固定休憩施設

外堀通りの玄関口

駅前広場と三枚橋錦町線をつなぐ場所である特性を活かし、外堀通りの利活用を象徴的空間とする。待ち合わせや休憩といった滞留や出店など、まちなかに関わりを持てる空間を構成する。

機能

- 風除けの樹木を中心とした、まとまった植栽エリア
- 滞留可能な固定休憩施設
- 玄関口としてのサイン機能
- 出店可能なデッキスペース（中）

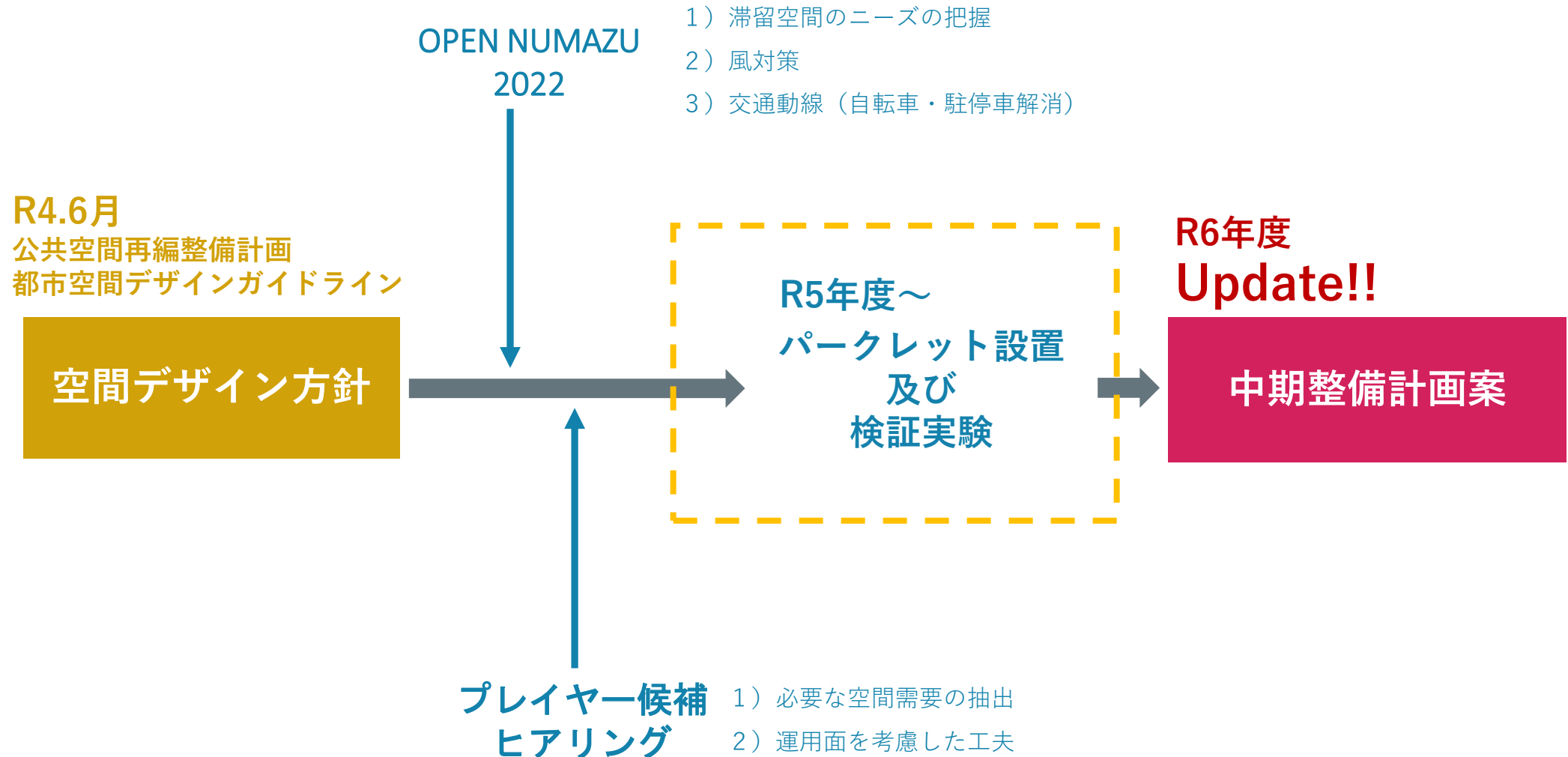
さんさん通りと仲見世をつなぐ日常の居場所

さんさん通りや仲見世商店街などの人の往来が多い通りとつながる特性や沿道店舗の特性を活かし、待ち合わせや飲食店への順番待ちといった、日常の暮らして使われる空間を構成する。

機能

- 結節点としてのサイン機能
- 一人でも居心地の良い固定的な滞留施設
- 長い直線を活かしたイベントスペース
- プランターなど身近な緑の設置

三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた全体の流れ



三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた検討

■R5年度パークレット予想設置範囲

三枚橋錦町線西側区間の東側車道部分に**20mのパークレット**を設置予定。
過年度を踏まえ、不足している検証を実施し、結果を反映することで整備案の精度を高める。

イーラde

パークレット設置予定場所

左折車線を利用制限

自転車通行動線

キッチンカー等利活用空間

パークレット事例



キッチンカーの配置を検討

三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた検討

■R5年度パークレット設置による検証内容

交通ルールのトライアル

一般車・自転車への制限

- ・ 自転車の原則車道通行
- ・ 駐停車のルール検討

南側荷捌きの検討

長期間（日常）の利活用トライアル

多様な出店活用のトライアル

- ・ キッチンカー、セミナー
ポップアップ等の実施

日常の空間維持

- ・ 運用及び維持（什器置き場など）
- ・ 風環境のモニタリング

エリアマネジメントの組織化を検討

- ・ 滞留空間の管理面・運用面

三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた検討

■道路空間の利活用を実現・サポートする仕組み

- 全国で居心地よく歩きたくなるまちなかを目指し、**公共空間を利活用して、にぎわい創出やエリア価値向上**へ取り組まれている。
- ほこみち制度*により、道路を様々な用途で利用することが可能になっており、**多様なアクティビティをサポートする支援組織やエリア全体での価値を高めるようにマネジメントする団体**があることが望ましい。

ほこみち制度（歩行者利便増進道路制度）

賑わいのある道路の構築のための道路の指定制度であり、歩道内の“歩行者の利便増進を図る空間”において道路空間の活用を柔軟に許可するもの。

神戸市／サンキタ通り・サンキタ広場での取り組み

地権者を中心とする民間企業と神戸市の官民で組織する「サンキタ実行委員会」を発足し、駅前のにぎわい創出やエリアの課題解決に取り組んでいる。



写真4 リニューアル後のサンキタ通り



写真7 利便増進誘導区域の指定状況



078KOBE MUSIC



photo by @kaoritama157

Kobe african party



YOGA DAY KOBE



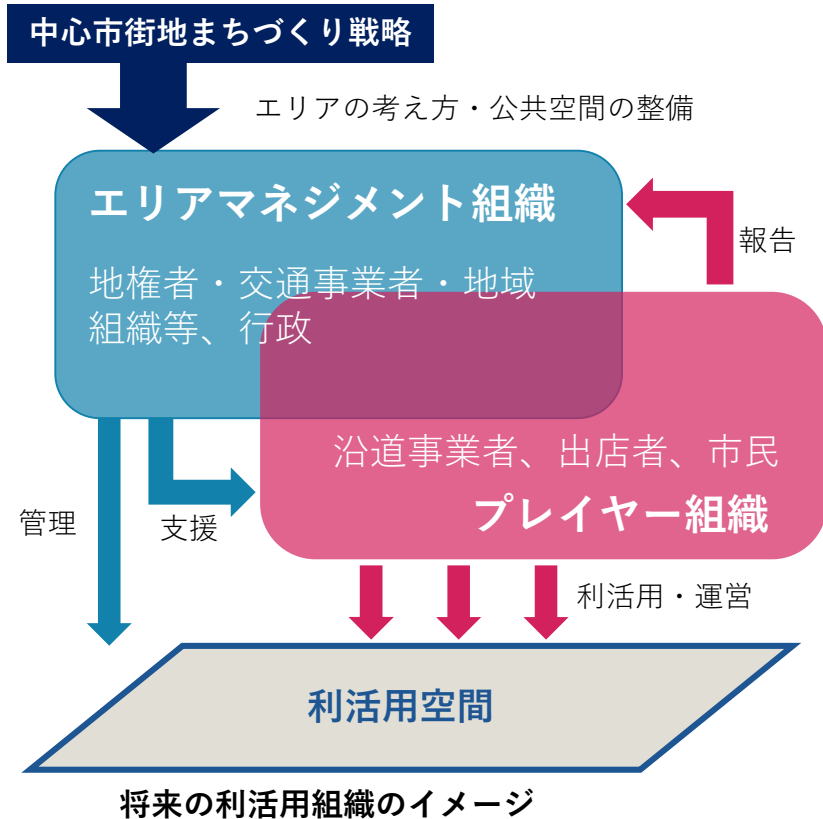
さんきたアベリティフ～実験夜市～

写真8 広場を活用した市民発意によるにぎわいの創出

三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた検討

■中期整備で生まれる公共空間と利活用組織のイメージ

- 中期整備時には駅周辺に利活用可能な公共空間が生まれ、それらを使いやすいように適切にマネジメントする必要があります。
- 駅周辺エリアの関係者で構成され、エリア全体の管理を行う「マネジメント組織」と、実際の利活用空間の運営などを担う「プレイヤー組織」が連携する関係を目指す。



三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた検討

■整備のステップについて

将来の空間利活用の実践の場として長期的な社会実験（R5・R6）を実施し、併せて沼津駅周辺のまちづくり活動やそれを支えるマネジメント組織のあり方について議論を進め、持続可能なまちづくりに向けた組織立ち上げを目指す。

